

# 市民が創る緑の街道 愛岐トンネル群 愛知県春日井市 ～廃線トンネル再生中～

特定非営利活動法人 愛岐トンネル群保存再生委員会

手づくりの郷土賞

講評

一般部門

大賞部門

資料集

愛岐トンネル群は、明治33年に旧国鉄中央西線として開通し、昭和41年に廃線となったトンネル群であり、愛知県春日井市～岐阜県多治見市間（全長約8km）に13基ものトンネルが存在しています。平成18年に市民の手で発見されるまで40年以上もの間、山の中に眠り続けていた貴重な産業遺産であり、「新たな地域の宝」といえます。

愛岐トンネル群保存再生委員会は、このトンネル群を掘り起こし、整備を続けている春日井市の市民団体です。平成19年に「旧国鉄トンネル群保存再生委員会」として発足し、平成23年に現在の「特定非営利活動法人 愛岐トンネル群保存再生委員会」が設立されました（平成24年3月現在会員数89名）。

委員会では、愛知県側の約1.7kmを第一次再生計画として位置づけ、市民自ら開拓調査を実施

しました。自然環境調査の結果では、軌道敷跡に国・県の絶滅危惧種や貴重な動植物が数多く発見されています。

たくましく豊かに再生した自然と赤レンガのトンネルの共生をめざして、廃線トンネルの再生を行い、平成20年より一般市民向けの特別公開（春・秋の年2回）を実施しています。現在までに、公開日数34日で延べ6万人（1700人/日）を超える方が参加しています。

今後は、第二次再生計画として新たに岐阜県側の約1.8km（県境から8号トンネル間）を巡る回遊歩道の整備を計画しています。JR中央線「定光寺駅」と「古虎溪駅」間の約3.5kmをフットパス区間としてつなぎ、廃線跡とトンネル群が「緑のトンネル街道」として復活し、多くの人々が往来できる歴史と自然の宝庫になることを目標に、今後も活動を展開していきたいと考えています。



春と秋に特別公開を実施。公開29日で延べ4万人以上が参加



特別公開以外は立入禁止だが、要望に応じて、ボイスカウトや地域の子供会など適時見学を受け入れ、公開している



樹木に覆われた赤レンガ製トンネル



約1.7kmの開拓に1年がかりで延べ1500人



雑木や藪を取り除き、地表に太陽が降り注いだ

- ◆所在地  
愛知県春日井市玉野町地内
- ◆活動内容  
トンネル群保存再生活動（維持管理、清掃、自然環境調査、トンネルの安全度調査、未開拓トンネル（岐阜県側）の第二次調査準備）、特別公開（毎年春秋2回開催）
- ◆活動主体名  
特定非営利活動法人愛岐トンネル群保存再生委員会  
([http://www.geocities.co.jp/ag\\_tunnel/index.htm](http://www.geocities.co.jp/ag_tunnel/index.htm))
- ◆連絡先  
特定非営利活動法人愛岐トンネル群保存再生委員会事務局  
0568-87-6533

